

# 並河 健・天理市長

## 初当選インタビュー

天理市長選挙が10月20日投票開票され、新人で元外務省職員の前市長並河氏が初当選した。並河氏は「市民本位の市政を推進し、市政は市民の皆さまに喜んでいただくためのサービスである」との認識と、経営の視点を持ちながら市政を推進していくと主張、外務省のほかに民間の広告会社に勤めた経験や人脈を強調し、「国や県との連携を強めていきたい」と語っている。天理市は東北中部に位置する人口約6万8千人、市域面積86・37平方キロの市で、天理教の宗教関連施設が集中するほか石上神宮、大和神社などが存在する宗教都市として知られている。また近鉄沿線を中心に大阪の近郊住宅都市としても発展している。新しい市政のかじ取り役になった並河氏に、市政に臨む抱負をうかがった。(聞き手は上田達雄・奈良新聞社取締役企画推進部長)

### 生活の向上へ チームづくり

「このたびは市長就任おめでとうございます。まず現在の心境から。まず市役所内の仕組みは、ほぼほぼできています。本市の行政課題について各部署からしっかりと話を聴きました。それを踏まえて予算案を編成したいと思っております。またそのために、機構改革を含め、市役所内

のチームづくりをしていきたいと思っております。財政状況は経常収支比率が100・5%と奈良県内では最低です。し



天理市長 並河 健氏

なみかわ・けん 昭和53年12月26日生まれ。平成10年防衛大学校中退、平成15年東京大学法学部卒業、同年外務省に入省、在エジプト大使館二等書記官などを務める。平成19年エジプト・カイロ大学大学院政治経済学部アイプロマ課程修了、平成20年ジョージタウン大学外交大学院修士課程修了。平成24年勤務。同年衆議院総選挙に立候補。平成25年天理市長選挙に立候補し当選、現職。

### 市民本位の市政を継続

「前市政を継承すると言っているのは、その思いがけずかですか。並河 行政手法として新しいやり方を導入しますが、これは前市長の否定ではありません。私は前市長の市民本位の市政を継続していきたいと考えています。具体的な施策が変わったからといってそれを変更した

### 持続的なごみ処理体制検討

「早急な施策が必要な課題としてごみ処理問題があると思います。並河 ごみ収集の有料化については、12月議会には上程しませんでした。しかし先延ばしするということではありませぬ。これは手段であって目的ではないのです。要はごみの持続可能な処理が目的であり、ごみ減量化とリサイクルについて、モデル地区を設置して効果を実際に確かめてみる必要があります。またクリーンセンターの補修による延命など見直しも含めて予算上の検証も行った上で必要であるならそれを説明させていただいて有料化の実施の必要性を見定めていく方向性で考えています。」

# にぎわいを創出 複眼的な思考で提案

## 公共施設から まず財政再建

「では財政再建についてはどのような考えですか。並河 まずファシリティマネジメントを積極的に推進したいと考えています。これは公共施設のメンテナンスのことですが、公共施設はこれまで、その機能ごとに整備されてきました。しかし各施設ともに老朽化が進み、更新が必要になってきています。しかし、現在の財政状況ではすべての施設を建て替えることはできません。合わせられる施設は集約し、あるいは光熱水費等維持管理経費を総合的に管理するため、全庁的な取り組みを実施します。たとえば高齢者ごとの施設を一体にして予算を合理化していくことも地域の人の絆を強める相乗効果を目指します。」

## 「出」を制し「入」を量る

### 「出」を制す (行政事業評価・ファシリティ・マネジメントの推進)

「出」を制すとは、真に市の発展に貢献するものか否かを徹底した予算編成に取り組み、執行後は直接的な結果・アウトカムのみならず、成果・アウトカムを検証するため、行政事業評価を強化し実施します。ファシリティ・マネジメント推進の目的は、行政サービスの内容を低下させずに、行政サービスの質を低下させずに、コスト削減することだけに限定されず、空間を共有することにより、高齢者と児童・保護者など

### 「入」を量る (暮らしの充実・街の活性化)

1 『命を守り、誰もが安心して暮らせる街づくり』

2 『未来を担う子供たちを育てる街づくり』

3 『にぎわい、つながる街空間づくり』

4 『産業の活性化と街の魅力づくり』

5 『市民・地域との協働の街づくり』

が生活しています。これをハラハラと捉え、全てを新しくすることには、今や非常に困難です。公共施設を統制しては、全体の業務量把握や人事評価制度の充実に活用など、経営感覚を持って業務を行うことも、市庁舎内と周辺の空間の有効活用や、今後のマイナンバー制度導入などの制度改革も踏まえたサービスの利便性向上に努めます。

かし、中長期的に介護予防の先進地域となることを目指します。市立病院のメデイカルセンターへの改修にあたり、健康の強化など予防的観点も重視し、地域の医療ニーズに応え、探検ののれる特色あるセンターとしてまいります。また、災害対策では、学校施設の耐震化をなお一層進めるとともに、二階堂地区などの浸水対策にも庁横断的に取り組み、災害に強い街づくりに取り組みます。

魅力づくりと発信の強化も同様に重視してまいります。また、市周辺では郡山ジャンクションの開設計画や京奈和道路の整備などが進んでいます。市民生活の向上に加え、県内の交通インフラ整備の成果を天理に引き込む上でも、市内の東西および南北の道路アクセスの充実、地域交通の改善に取り組んでまいります。

来年度以降、市政の重点施策や課題について市民の皆さまと直接対話するためのタウンミーティングを随時実施していく予定です。区長連合会やNPO、ボランティア団体の皆さまとの連携を強化し、また各地域団体の活動が活発化することを旨とし、集会所や業務所を行うための場所の確保に努め、イベント情報などを市も連携して発信するなどを進めてまいります。

また、市内には学校、学童、公民館、体育館などさまざまな機能をもちた施設が存在しているにもかかわらず、空間を共有することにより、高齢者と児童・保護者など

また、前小学校の早期建て替えを含め、教育環境の整備に取り組む予定です。通学路の安全確保は引き続き最も重要な課題であり、市役所内では組織横断のプロジェクト・チームを作り、早急な現状の把握と改善策の実施を図ります。

また、市民・地域との協働の街づくり

また、市民・地域との協働の街づくり

また、市民・地域との協働の街づくり

# オール天理で「共に創る」明日の天理



駅前を華やかに

天理駅前広場で約25万球のLEDを使った県内最大級のイルミネーションイベント「天理市光の祭典2013」が来年1月18日(土)まで開かれている。点灯時間は午後5時から同10時まで

「今後の展望について一言。並河 いつまでも元気で暮らしていくことができれば、また財政負担の観点からも天理を介護予防の先進地域にしたいと考えています。天理市立病院はメデイカルセンターとして再編成し、健康の強化をはじめ介護予防機能も重視した施設にしていきたいと考えています。そして地域の医療ニーズに合ったものとして運営していきたいと思っております。」

「今後の展望について一言。並河 いつまでも元気で暮らしていくことができれば、また財政負担の観点からも天理を介護予防の先進地域にしたいと考えています。天理市立病院はメデイカルセンターとして再編成し、健康の強化をはじめ介護予防機能も重視した施設にしていきたいと考えています。そして地域の医療ニーズに合ったものとして運営していきたいと思っております。」

「今後の展望について一言。並河 いつまでも元気で暮らしていくことができれば、また財政負担の観点からも天理を介護予防の先進地域にしたいと考えています。天理市立病院はメデイカルセンターとして再編成し、健康の強化をはじめ介護予防機能も重視した施設にしていきたいと考えています。そして地域の医療ニーズに合ったものとして運営していきたいと思っております。」

「今後の展望について一言。並河 いつまでも元気で暮らしていくことができれば、また財政負担の観点からも天理を介護予防の先進地域にしたいと考えています。天理市立病院はメデイカルセンターとして再編成し、健康の強化をはじめ介護予防機能も重視した施設にしていきたいと考えています。そして地域の医療ニーズに合ったものとして運営していきたいと思っております。」

「今後の展望について一言。並河 いつまでも元気で暮らしていくことができれば、また財政負担の観点からも天理を介護予防の先進地域にしたいと考えています。天理市立病院はメデイカルセンターとして再編成し、健康の強化をはじめ介護予防機能も重視した施設にしていきたいと考えています。そして地域の医療ニーズに合ったものとして運営していきたいと思っております。」

「今後の展望について一言。並河 いつまでも元気で暮らしていくことができれば、また財政負担の観点からも天理を介護予防の先進地域にしたいと考えています。天理市立病院はメデイカルセンターとして再編成し、健康の強化をはじめ介護予防機能も重視した施設にしていきたいと考えています。そして地域の医療ニーズに合ったものとして運営していきたいと思っております。」

「今後の展望について一言。並河 いつまでも元気で暮らしていくことができれば、また財政負担の観点からも天理を介護予防の先進地域にしたいと考えています。天理市立病院はメデイカルセンターとして再編成し、健康の強化をはじめ介護予防機能も重視した施設にしていきたいと考えています。そして地域の医療ニーズに合ったものとして運営していきたいと思っております。」

「今後の展望について一言。並河 いつまでも元気で暮らしていくことができれば、また財政負担の観点からも天理を介護予防の先進地域にしたいと考えています。天理市立病院はメデイカルセンターとして再編成し、健康の強化をはじめ介護予防機能も重視した施設にしていきたいと考えています。そして地域の医療ニーズに合ったものとして運営していきたいと思っております。」



天理市の魅力や強みを広く発信しようと、開設された市公式のフェイスブックページ「e~やん天理」

市長室でも天理市の隠れた一品をアピールしています。たとえば花炭は柳本藩の織田家由来といわれている。福住の公民館では「野の花クラブ」という地域サークルが、地域の里山の花を摘んでアートにする活動を行っています。また天理参考館にある硬券といわれる鉄道の乗車券も名刺にデザインしたアイデアが配られています。

市長室でも天理市の隠れた一品をアピールしています。たとえば花炭は柳本藩の織田家由来といわれている。福住の公民館では「野の花クラブ」という地域サークルが、地域の里山の花を摘んでアートにする活動を行っています。また天理参考館にある硬券といわれる鉄道の乗車券も名刺にデザインしたアイデアが配られています。

市長室でも天理市の隠れた一品をアピールしています。たとえば花炭は柳本藩の織田家由来といわれている。福住の公民館では「野の花クラブ」という地域サークルが、地域の里山の花を摘んでアートにする活動を行っています。また天理参考館にある硬券といわれる鉄道の乗車券も名刺にデザインしたアイデアが配られています。